

資源・エネルギー業種の進捗状況の概要(2014年度実績)

目標設定
について
(継続論点)昨年度の
取組実績について
(継続論点)低炭素社会実行計画の柱に沿った調査票の章立て
(詳細内容はフォローアップ調査票を参照)目標設定
について
(継続論点)

	目標指標	基準年度 /BAU	2020年目標	2014年度実績	進捗率	想定比	2015年度 の見通し	CO2排出量 2014年度実 績 (万t-CO2)	2030年目標 策定状況		低炭素製 品・サービ ス等による 他部門 での貢献	海外での 削減貢献	革新的技 術の開発・ 導入	策定目標の 見直し
									CO2排出量 BAU比	CO2削減 率				
電気事業連合会	CO2排出量	BAU	▲700万t-CO2	▲420万t-CO2	60%	-	-	45,600.0	○	CO2排出量 BAU比 ▲1,100万t-CO2	リストアップ	リストアップ	リストアップ ・ 定量化	-
	CO2原単位	BAU	-	-	-	-	-		CO2原単位 BAU比 0.37kg-CO2/kWh 程度	リストアップ	リストアップ	リストアップ ・ 定量化	-	
特定規模電気事業者	CO2排出量	BAU	▲700万t-CO2	▲420万t-CO2	60%	-	-	1,260.0	○	CO2排出量 BAU比 ▲1,100万t-CO2	リストアップ	リストアップ	リストアップ ・ 定量化	-
	CO2原単位	BAU	-	-	-	-	-		CO2原単位 BAU比 0.37kg-CO2/kWh 程度	リストアップ	リストアップ	リストアップ ・ 定量化	-	
石油連盟	省エネ対策量	2009年度	▲53万kl (原油換算)	▲36.3万kl (原油換算)	69%	-	-	3,823.0	○	省エネ対策量 ▲100万kl (原油換算)	リストアップ ・ 定量化	リストアップ	リストアップ	-
日本ガス協会	CO2原単位	1990年度	▲89%*	▲90%*	102%	100%	○	47.6	○	CO2原単位 1990年度比 ▲89% (10.4g-CO2/m3)	リストアップ ・ 定量化	リストアップ	リストアップ	-
日本鉱業協会	CO2原単位	1990年度	▲15%**	▲15.8%**	105.6%	122.1%	○	441.5	○	CO2原単位 1990年度比 ▲18% (2020年度に見直し予定)	リストアップ ・ 定量化	リストアップ ・ 定量化	リストアップ ・ 定量化	-
石灰石鉱業協会	CO2排出量	BAU	▲4,300t-CO2*	▲2,500t-CO2*	59.1%	81.9%	○	27.9	○	CO2排出量 BAU比 ▲5,800t-CO2	リストアップ	リストアップ	リストアップ	-
石油鉱業連盟	CO2排出量	2005年度	6万t-CO2 (▲27%)	▲2.0%	6.8%	-	-	21.8	○	CO2排出量 2005年度比 ▲6万t-CO2	リストアップ	リストアップ	リストアップ	-
	CO2原単位	1990年度	▲25%	▲7.6%	30%	-	-							
日本LPガス協会	エネルギー消費量 (CO2排出原単位か ら変更)	2010年度	▲5%	▲6.6%	133.3%	328.6%	○	2.9	○	エネルギー消費量 2010年度比 ▲9%	リストアップ ・ 定量化	-	-	-

(注1) 2014年度実績及び2015年度の見通しについて、基準年度比での削減目標を掲げた業種は基準年度比の削減率を、BAUからの削減目標を掲げた業種はBAUからの削減量をそれぞれ記載。

(注2) 「進捗率」は、目標水準と比較した2014年度実績の比率。【進捗率=(基準年度の実績水準-当年度の実績水準)/(基準年度の実績水準-2020年度の目標水準)×100(%)】

(注3) 「想定比」は、2014年度について予め想定した水準と比較した実績値の比率。【想定比=(基準年度の実績水準-当年度の実績水準)/(基準年度の実績水準-当年度の想定した水準)×100(%)】

(注4) 「目標の引き上げ」は、低炭素社会実行計画においてこれまで目標を変更した年度及びその水準。

(注5) 電力のクレジット等調整後排出係数(受電端)と各業界のクレジット量等の償却量・売却量に基づいて算定。

* 日本ガス協会・石灰石工業協会は、電力排出係数0.330kg-CO2/kWhに基づき算定。

** 日本鉱業協会は、電力排出係数0.492kg-CO2/kWhに基づき算定。

(注6) 着色している業種は、2014年度実績において進捗率が100%を超過している業種。ただし、各業種とも、最終的には2020年実績で目標を達成することとしている。

(注7) 電気事業連合会、特定規模電気事業者については共通の計画を策定。

(注8) 低炭素製品・サービス等による他部門での貢献は、リストアップ(定量化含む)、-(検討中)と表記

(注9) 海外での削減貢献は、リストアップ(定量化含む)、-(検討中)と表記

(注10) 革新的技術の開発・導入は、リストアップ(定量化含む)、-(検討中)と表記